

講義名: 経済学A 01<春> 曜日1: 木4 担当教員名: 澤田 鉄平	ナンバリングコード: ECON1000 曜日2:
--	-----------------------------

研究室: 聖アンデレ館11階1112号室	オフィスアワー: 木曜日1限 (いずれも事前にもメールにて連絡をください)	メールアドレス: t.sawada@andrew.ac.jp
----------------------	---------------------------------------	--------------------------------

授業形態

『講義』

講義・演習概要

ミクロ経済学の基本的な考え方とその理論の理解を通じた実体経済の考え方について学んでいく。範囲は公務員試験程度とし、市場、各経済主体の活動、一国経済、国際経済を網羅的に講義する。一部数学を使うことになるため、講義でも復習するが、学生自身が十分に準備すること。

学習(到達)目標

この講義に積極的に参加することを通じて

- ①ミクロ経済学で必要とされる基本的な数学的知識を身に付けることができる。
- ②ミクロ経済学の基礎理論を使い、特定の市場の動向を説明する能力を得ることができる。
- ③ミクロ経済学の理論を深く学ぶための基礎能力を得ることができる。

講義・演習計画	
【第1回】 ミクロ経済学概論	
【第2回】 2次関数と微分の復習	
【第3回】 消費者行動Ⅰ——効用関数と予算制約	
【第4回】 消費者行動Ⅱ——効用最大化、需要関数、弾力性	
【第5回】 企業行動Ⅰ——費用関数	
【第6回】 企業行動Ⅱ——利潤最大化	
【第7回】 完全競争市場Ⅰ——均衡理論	
【第8回】 完全競争市場——余剰分析ほか	
【第9回】 不完全競争市場Ⅰ——独占	
【第10回】 不完全競争市場Ⅱ——寡占・複占・ゲーム理論	
【第11回】 市場の失敗Ⅰ——外部効果	
【第12回】 市場の失敗Ⅱ——情報の非対称性・公共財・政府の役割	
【第13回】 国際貿易Ⅰ——自由貿易均衡と貿易政策	
【第14回】 国際貿易Ⅱ——比較生産費説	
【第15回】 ミクロ経済学まとめ	

成績評価の方法				
試験		レポート	100%	その他
コメント	定期的な課題6回×10点=60点 期末レポート1回×40点=40点 計 100点 で評価する。			

テキスト			
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	

参考文献

西村和雄(1995)『ミクロ経済学入門』岩波書店

事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間・事後学習 30 時間)

M-Portに資料をアップするので、講義内容を繰り返し読み、わからない部分については自分で調べ、それでも理解できない場合は教員にM-Portで質問すること。

その他備考(担当教員用)

キーワード

備考(管理者用)

(旧: 経済学)02~19生読替